

関東ラグビーフットボール協会公式試合記録

チームA 能代工業	0 { 前 68 後 48 } 116	チームB 秋田中央
--------------	------------------------	--------------

大会名	対戦日	平成 年 月 日 ( )	グラウンド状態
レフリー	kick.off	AM (PM) 時 分	天候
(協会 公認)	競技場名	雄和G	観客数

チームA 能代工業	対	チームB 秋田中央
1. 鈴木隼人 (2)		1. 二田 健史 (3)
2. 金平 勝成 (3)		2. 桑原 宗 (3)
3. 笠原 大樹 (3)		3. 佐藤 勇人 (2)
4. 北林 嵩平 (2)	FW	4. 高橋 大騎 (2)
5. 大山 峻 (2)		5. 小形山 範史 (3)
6. 三熊 純光 (2)		6. 佐木 晃介 (3)
7. 佐藤 遼 (3)		7. 熊谷 航 (3)
8. 柴田 悠真 (2)		8. 富樫 平 (3)
9. 小野 圭介 (2)	HB	9. 澤木 大樹 (3)
10. 石川 峻 (2)		10. 鈴木 健太郎 (2)
11. 見五 純平 (2)		11. 高橋 貴大 (3)
12. 栗山 真 (2)	TB	12. 二田 康平 (3)
13. 阿部 新史 (2)		13. 鈴木 大将 (3)
14. 田村 雅也 (2)		14. 菊池 映貴 (3)
15. 佐木 颯 (2)	FB	15. 相山 慧輔 (3)
16. 小林 剛 (1)		16. 木村 友哉 (2)
17. 渡辺 圭 (1)	リ	17. 高橋 裕太 (2)
18. 小嶋 大 (1)	ザ	18. 藤田 修平 (2)
19. 奥村 啓吾 (1)	ー	19. 吉木 三裕 (2)
20. 大越 柁也 (1)	ブ	20. 山内 健太郎 (1)
21. 石嶋 昂己 (1)		21. 渡部 雄平 (2)
22. ( )		22. 阿部 優 (3)
23. ( )		23. 小松 裕太 (1)
24. ( )		24. 富樫 玄 (1)
25. ( )		25. 下間 俊彦 (2)

(種類)	(時間)	(背番号)	交代	(種類)	(時間)	(背番号)
交代	0分	1	→	交代	0分	1
交代	0分	6	→	交代	0分	6
交代	0分	12	→	交代	0分	12
交代	0分	13	→	交代	0分	13
交代	12分	2	→	交代	12分	2
交代	12分	8	→	交代	12分	8

一時退場	<退場時間>	一時交代背番号
○前半	分	分
○後半	分	分
○前半	分	分
○後半	分	分
○前半	分	分
○後半	分	分
○前半	分	分
○後半	分	分

経過	得点に至った概要・事故・その他を時間別に記入。 初めの番号も必ず記入のこと。	得点	
		A	B
	Kick Off (kick offのチーム名記入)		
	前半 秋田中央 Kick Off		
2分	B ゴールライン手前、トラックから⑨-⑫-⑬、⑭-⑮とまわし、左中間にトライ G⑨	0	7
3分	B ⑩がパスをもらい、ポスト中央にトライ G⑨	0	14
6分	B ⑬がトラックを走り、⑯がパスをもらい、ポール右にトライ G⑨	0	21
10分	B ⑫が22M手前ステップから⑮がまわし、ポスト中央にトライ G⑨	0	28
14分	B 22M手前トラック⑨-⑩-⑪とまわし、右中間にトライ G⑨	0	35
16分	B Gライン手前、トラックから⑩がまわし、左中間にトライ	0	40
20分	B 22Mライン手前、トラックから⑨-⑩とまわし、左中間にトライ G⑨	0	47
24分	B 22Mライン手前、10+Lから⑤-⑥とまわし、左中間にトライ G⑨	0	54
26分	B 自陣ハーフライン手前、⑮がキックし、⑬-⑭-⑮とまわし、左中間にトライ G⑨	0	61
30分	B ゴールライン手前、モールを押し込み、右中間にトライ G⑨	0	68
0分	能代工業 K.O		
2分	B ゴールライン手前の⑨-⑩-⑪-⑫と回し、左中間にトライ	0	73
5分	B 22Mライン過ぎのモールから⑨-⑩-⑪-⑫と回し、左中間にトライ G成功⑨	0	80
7分	B 22Mライン過ぎのトラックから⑨-⑩-⑪-⑫と回し、左中間にトライ G成功⑨	0	87
9分	B ⑯がパスをもらい、左中間にトライ G成功⑨	0	94
14分	B ハーフライン過ぎのトラックから⑨-⑩-⑪-⑫-⑬と回し、ポスト中央にトライ G成功⑨	0	101
18分	B 10Mライン過ぎ、トラックから左へ展開し⑮が左中間にトライ	0	106
21分	B 10Mライン過ぎのトラックから⑭-⑮と回し、左中間にトライ	0	111
28分	B ゴールライン手前の相手のペナルティから⑮がポール左にトライ	0	116

前半	後半	得点	前半	後半
		T	正	正
		G	正	正
		PG		
		DG		
0		計	68	
		合計		
PT	F	PT	F	
		反則	P	F
		合計		

<サブ>	<時間>	チーム	<番号>	内容
サブ	分		№	
サブ	分		№	
サブ	分		№	
サブ	分		№	

記録係	金龍	記録責任者
ドクター		





# 秋田中央 堅守で連続V

ラグビー

(八橋球技場)

▽Aブロック3位決定戦

秋田 33(112-10) 10 男鹿工

▽同決勝

秋田中央 14(8-3) 6 秋田工

(秋田中央は2年連続6度目の優勝)

## 白熱のPG合戦 後半初トライ 秋工突き放す

ラグビーで  
2年連続6度目の優勝  
秋田中央

互いにペナルティゴールのみで点を取り合う接戦が続いたゲーム。9-6で迎えた後半22分、WTB高橋貴大(3年)が両チーム通じて、最初で最後となるトライを決め、秋田工を突き放して逃げ切った。

ディフェンスラインが踏ん張り、少ないチャンスをものにしているというチームの身上を発揮しての勝利。古谷和義監督は「理想的な試合展開。攻撃力のある秋

田工をノートライに抑えるなど選手たちはよく頑張った」とたたえた。

昨年11月の全県新人戦決勝では、秋田工に12-26で敗れた。一歯が立たない現実に直面し、危機感を持った(古谷監督)。冬場の練習では、ディフェンス力の向上に絞って取り組んだ。「その成果が出せた」と古谷監督。

唯一のトライを決めた高橋貴は、ラックから右に展開してきたパスを受け取った瞬間、「来た。やってやる」と、相手ディフェンス陣を振り切り、無我夢中でゴールに飛び込んだ。チームを優勝に導いた立役者だが、「みんなでディフェンスを頑張って、勝ち取った勝利」と喜んでた。

今後は東北選手権を経て、チームの一番の目標である花園出場に向けて強化の時期を迎える。昨季、花園でプレーした経験を持つナンバー8の富樫平主将(3年)は「技術面で足りない点がいろいろあり、まだ未完成。でも、FW陣の能力は高いと思う。もっと強くなれる」とさらなるレベルアップを誓っていた。

栄光



【ラグビー決勝・秋田中央―秋田工】後半22分、秋田中央のWTB高橋貴が右隅にトライを決める。八橋球技場